加藤製作所 健康経営宣言

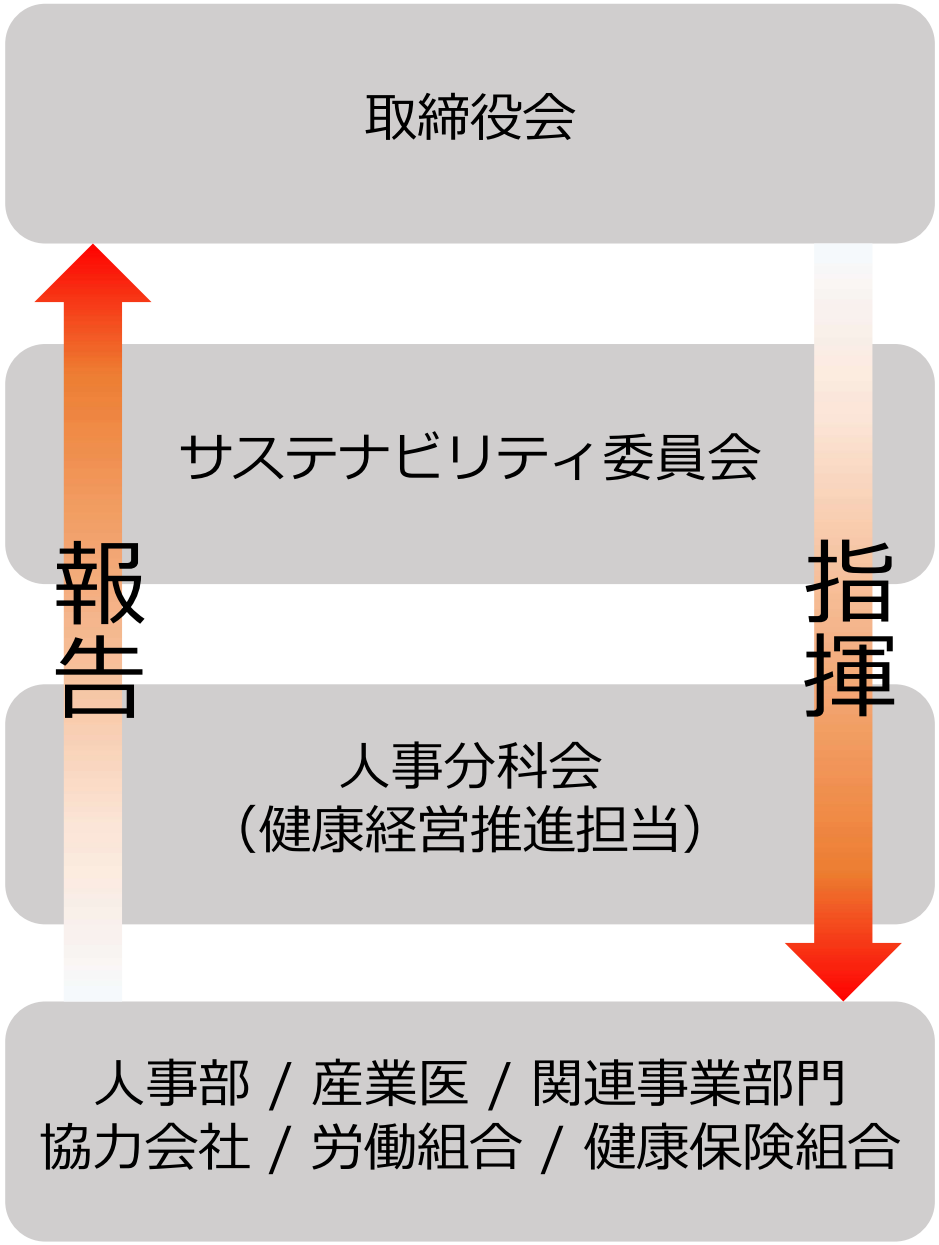
当社は従業員の心身の健康維持、増進を図ることが組織の活性化、
生産性の向上に寄与し、ひいては企業価値向上と持続的成長につな
がるものと考えています。
また、この取り組みが社会貢献の１つであるとも捉えており、戦略的に
健康経営を推進します。

執行役員　総務人事統括部長 石丸 靖

KATO 株式会社 加藤製作所

推進体制

KATO
進化の奥の更なる真価へ



各組織の連携

健康経営の推進を重要な人的資本への投資の一環と捉え、総務人事担当役員を責任者とし取締役会直轄「サステナビリティ委員会」における人的分野を担当する「人事分科会」を推進組織とし、健康経営の実現と更なる発展に向け、社内のみならず健康保険組合や協力会社等と連携して進めてまいります。

健康経営 戦略マップ

KATO
進化の奥の更なる真価へ

健康投資	健康投資効果			健康経営で解決したい経営課題
	健康投資施策の取組状況に関する指標	従業員等の意識変容・行動変容に関する指標	健康関連の最終的な目標指標	
様々な効果に関連する健康投資（＊） 産業医 健康保険組合との連携 各種健康診断の実施 社内外人員による研修（女性の健康セミナー、健康管理、メンタルヘルス等）	従業員喫煙率モニタリング 運動機会促進 食を通じた健康管理意識の増進 健康管理システム導入 制度周知等情報発信 感染症対策 従業員意識調査	・出勤率 ・回答率 ・使用率 ・参加者数 ・参加率 ・満足度 ・教育記録 等	喫煙率の低下 肥満率の低下 ストレスチェック受診率向上 健康診断受診率向上 平均残業時間減少 平均有給休暇取得日数や育休取得増加 エンゲージメントスコアの向上	プレゼンティーズム（体調不良や心身の不調を抱えながら働いている状態）の数値良化 組織全体における健康意識の増進とそれに伴う肥満率や喫煙率といったセルフケアによる影響の強い健康指標の数値良化 有給休暇や育休といった制度の利用率、社員の定着率の向上	**・社員のモチベーションと生産性向上** **・社内のみならず関係各所の活性化**

労働安全衛生への取り組み

KATO
進化の奥の更なる真価へ

基本理念

安全はすべてに優先する

✓基本理念のもと、グループで働く全ての従業員が
「安心して働ける職場環境」と「ゼロ災達成」を実現できるよう
全社で安全衛生活動を展開し、社会から信頼される企業を
目指していきます。

具体的取り組み事例

各工場の月１回の
安全ミーティング

事業所間の
相互安全パトロール

安全衛生手帳の配布

従業員から募集した安全標語

ワークライフバランスについて

KATO
進化の奥の更なる真価へ

✓「仕事も」「プライベートも」充実できる働き方を推進中

2025年度における
平均残業時間

14.0時間

(2024年度　14.1時間)

2025年度における
平均有給取得

13.4日

(2024年度　12.1日)

2025年度における
新卒3年定着率

97.0%

(2024年度　96.8%)

育児休業・育児休暇

**男女問わず
取得推進中**

積立年休制度

**子の育児・看護 / 介護
不妊治療 / 妊娠検診
臓器移植 など**

ヘルスケア

**ストレスチェックを実施し、
メンタルヘルス不調者や
長時間労働者の上長に
対策を指示**

健康に関する指標

KATO
進化の奥の更なる真価へ

項目		2023年度	2024年度	2025年度
定期健康診断受診率		98.6%	97.6%	98.2%
定期健康診断有所見率		33.5%	30.5%	30.8%
肥満率		28.2%	29.4%	28.7%
ストレスチェック受検率		73.4%	79.1%	82.3%
ストレスチェック高ストレス者率		15.1%	17.2%	19.1%
アブセンティーズム（メンタル疾患不出勤者率）※1		0.7%	0.4%	0.3%
プレゼンティーズム※2	労働機能評価※3	91.0%	90.9%	90.8%
	良好状態	44.0%	45.9%	42.8%
	軽度障害	35.3%	33.0%	38.3%
	中度障害	15.1%	15.6%	13.3%
	重度障害	5.6%	4.9%	5.6%

集計対象：加藤製作所(単独)
※１ メンタル疾患に伴う1ヵ月以上の欠勤者を基に算出しております。
※2 WFun(Work Functioning Impairment Scale)を参考に調査しています。
※3 労働機能評価は、働く力を労働機能に変換し労働機能障害がない場合、１００%となります。

KPIの設定

KATO
進化の奥の更なる真価へ

✓ **客観的に評価でき、あらゆる健康面に影響するKPIとして肥満率低減とストレスチェック受診率向上を設定。2027年度までの達成を目指します。**

肥満率目標

25.5%

(2024年実績　29.4% ⇒2025年実績　28.7%)

➡ 各種研修を実施しセルフケアの実践を周知します。

ストレスチェック受検率目標

90.0%

(2024年実績　79.1% ⇒2025年実績　82.3%)

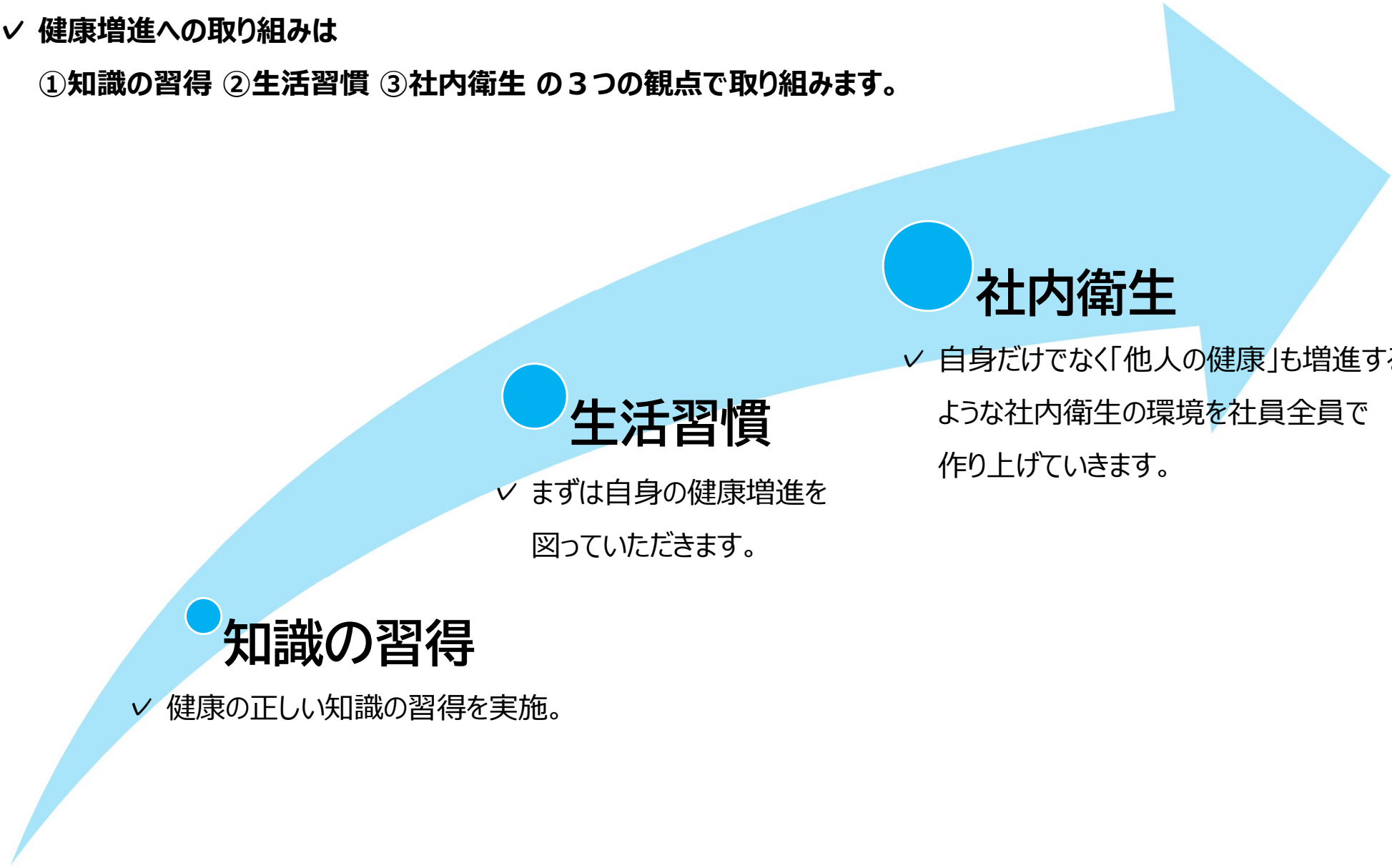
➡ 人事部のみならず各管理職を通じて従業員に受診を徹底するよう働きかけていきます

KPI達成に向けた取り組み

KATO
進化の奥の更なる真価へ

✓ **健康増進への取り組みは**

①知識の習得 ②生活習慣 ③社内衛生 の３つの観点で取り組みます。



知識の習得

✓ 健康の正しい知識の習得を実施。

生活習慣

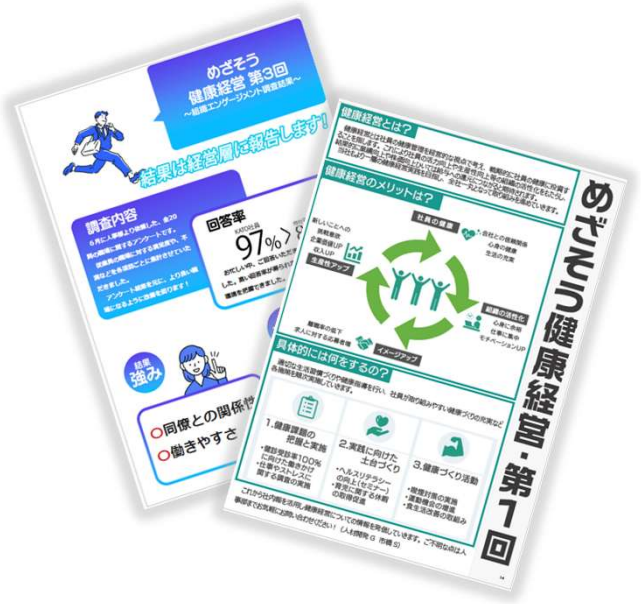
✓ まずは自身の健康増進を図っていただきます。

社内衛生

✓ 自身だけでなく「他人の健康」も増進するような社内衛生の環境を社員全員で作り上げていきます。

取り組み①「知識の習得」

KATO
進化の奥の更なる真価へ



✓ **社内報やセミナーを活用し、ヘルスリテラシーを学ぶ場をつくっています**

社内報を活用した ヘルスリテラシーの向上

会社全体、社員全員のヘルスリテラシーの向上を目的に、

社内報に毎回、健康に関するトピックを掲載し、健康に対する意識の増進を図っています。

管理職セミナー

女性健康セミナー

さまざまなセミナー

管理職セミナー：管理職が課員のメンタルケアについて学ぶセミナー

セカンドライフセミナー：57歳以上の従業員が退職後のセカンドライフについて学ぶセミナー

女性健康セミナー：女性特有の健康に関する知識について、男女・役職問わず学ぶセミナー

取り組み②　「生活習慣」

KATO
進化の奥の更なる真価へ

✓「食」「運動」「地域とのつながり」を積極的に後押しすることで日々の生活から社員の健康増進が図れるような仕組みを作ります。

食

提携している調理専門学校から健康維持に役立つレシピの提供を受け社内報などで紹介しています

運動

運動機会の増進および安全対策を目的に、全拠点で始業前のラジオ体操を実施しています

地域とのつながり

従業員が地域のイベントにも積極的に参加しており、地域の　方々と交流をしつつ、地域の活性化にも貢献しています。

取り組み③「社内衛生」

KATO
進化の奥の更なる真価へ

✓ **自身だけでなく「他人の健康」も増進するような社内衛生の環境を社員全員で作り上げていきます。**

アルコールスプレー、検査キットの常備

会社全体、社員全員のヘルスリテラシーの向上を目的に、
社内報に毎回、健康に関するトピックを掲載し、健康に対する意識の増進を図っています。

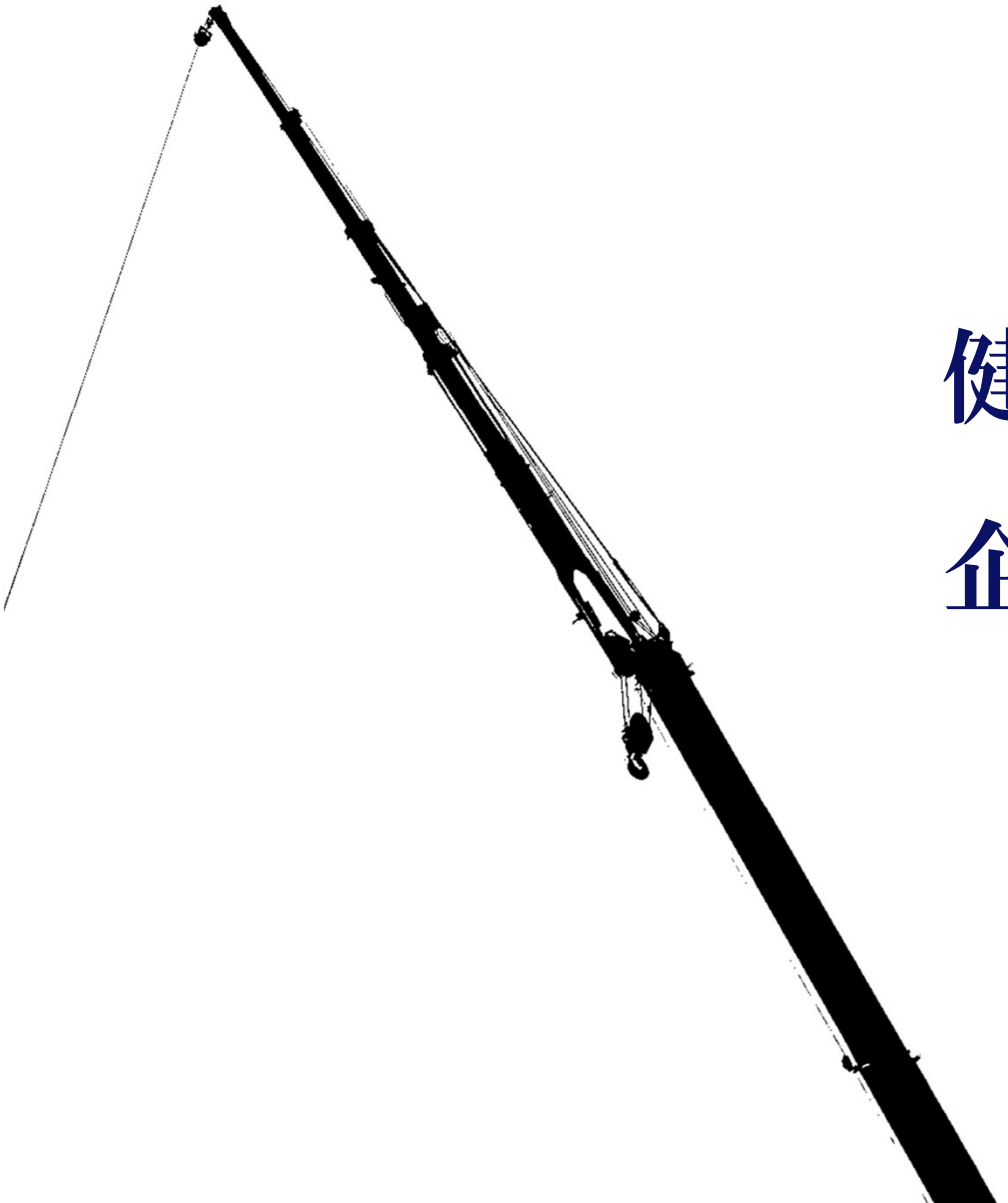
男女別社員の喫煙率			
	男性	女性	全体
2024年度	30.2%	8.9%	27.9%
2025年度	32.1%	7.7%	29.4%

喫煙率低下と受動喫煙防止

産業医による喫煙による健康被害に関する啓蒙活動を行っています。また、受動喫煙対策として完全分煙かつ厳格に喫煙可能な時間を、全社的に設定しています。

KATO

進化の奥の更なる真価へ



健康で働ける職場が
企業の真価だ

KATO 株式会社 加藤製作所